

# 「匠」棒針で編むあみぐるみ 靴下に入った子犬



デザイン:石井幸代

## <使用道具>

「匠」4本針(30cm) 3号  
とじ針No.18  
カットワークはさみ115  
縫い針

## <材料>

毛糸

- [a] 中細～合太毛糸 赤 約5g
- [b] 中細～合太毛糸 水色 約5g
- [c] 中細～合太毛糸 白 約5g
- [d] 中細～合太毛糸 ベージュ 約12g
- [e] 中細～合太毛糸 茶色 少量
- [f] 中細～合太毛糸 黄色 少量
- [g] 中細 こげ茶色 少量

※毛糸のゲージ(10×10cm)  
[a]～[f]の糸:24目×34段

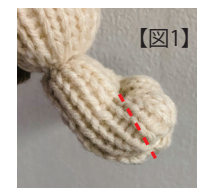
手芸用綿 適宜  
目ビーズ(直径4mm) 2個  
手縫い糸 黒

## <作り方>

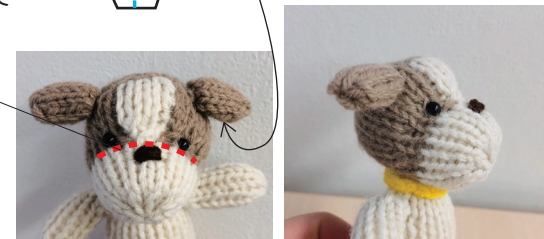
### ●アドバイス

- ・全てのパーツを平編みで編んで、後から縫い合わせて立体にしていきます。
- ・編み始めと編み終わりの糸端は、後で縫うために10cm以上残してください。
- ・縫い合わせるときは、表目の方からすくいとじします。

- ①靴下、ボディ、頭、腕、脚、耳、しっぽ、首輪、靴下につけるひものパーツを編み図を参考に編みます。編み図は2ページ目、3ページ目にあります(靴下については、編み図の他に3ページ目に「編み方のポイント」があります)。靴下につけるひもと首輪以外のパーツの編み終わりは、伏せ止めではなく糸を少し長めにカットし、その糸を最後の段の編み目に通して絞ります。
- ②靴下を成形します。編み終わりの糸を使って縫い合わせます。はき口のかかと側にひもが輪になるように縫い付けます。靴下の完成です。
- ③ボディを成形します。編み終わりの糸を使って半分くらいまで縫い合わせます。編み始めの糸を作り目の段にぐしめいするように通して強く絞ります。そのまま続けてサイドを縫っていき、全て縫い合わせる前に綿を詰めて閉じます。
- ④腕を成形します。編み終わりの糸でサイドを縫い合わせます。作り目の方から綿を入れます(綿の入れ口は閉じずにそのままにしておき、後でボディに縫い付けながら塞ぎます。)
- ⑤脚を腕と同様に縫って綿を詰めます。足首の形を整えます。[d]糸をとじ針に通し、足の裏から針を入れて足首の前に出します。次は足首のほうから足の裏へ針を入れます。もう一度足の裏から足首の前に針を出し、糸を引いて足裏を平らにし、足首の形を整えます(【図1】参照)。
- ⑥耳を成形します。編み終わりの糸で縫い合わせ、縫い目が耳の側面ではなく中央に来るように形を整えます。
- ⑦頭をボディと同様に縫って綿を詰め、耳を縫い付けます。耳は、縫い目が内側に来るように縫い付けます。アイラインにしたいところを[d]糸でぐしめいして糸を引き、くぼみをつけます。目のビーズを縫い付け、鼻を[g]糸で刺繍します。  
このようにアイラインをぐしめいして糸を引き、くぼみをつける
- ⑧頭と腕、脚、しっぽをボディに縫い付け、首輪を首に巻き、縫いとめます。子犬を靴下に入れて完成です。



足の裏と足首部分にこのように糸を通して形を整える



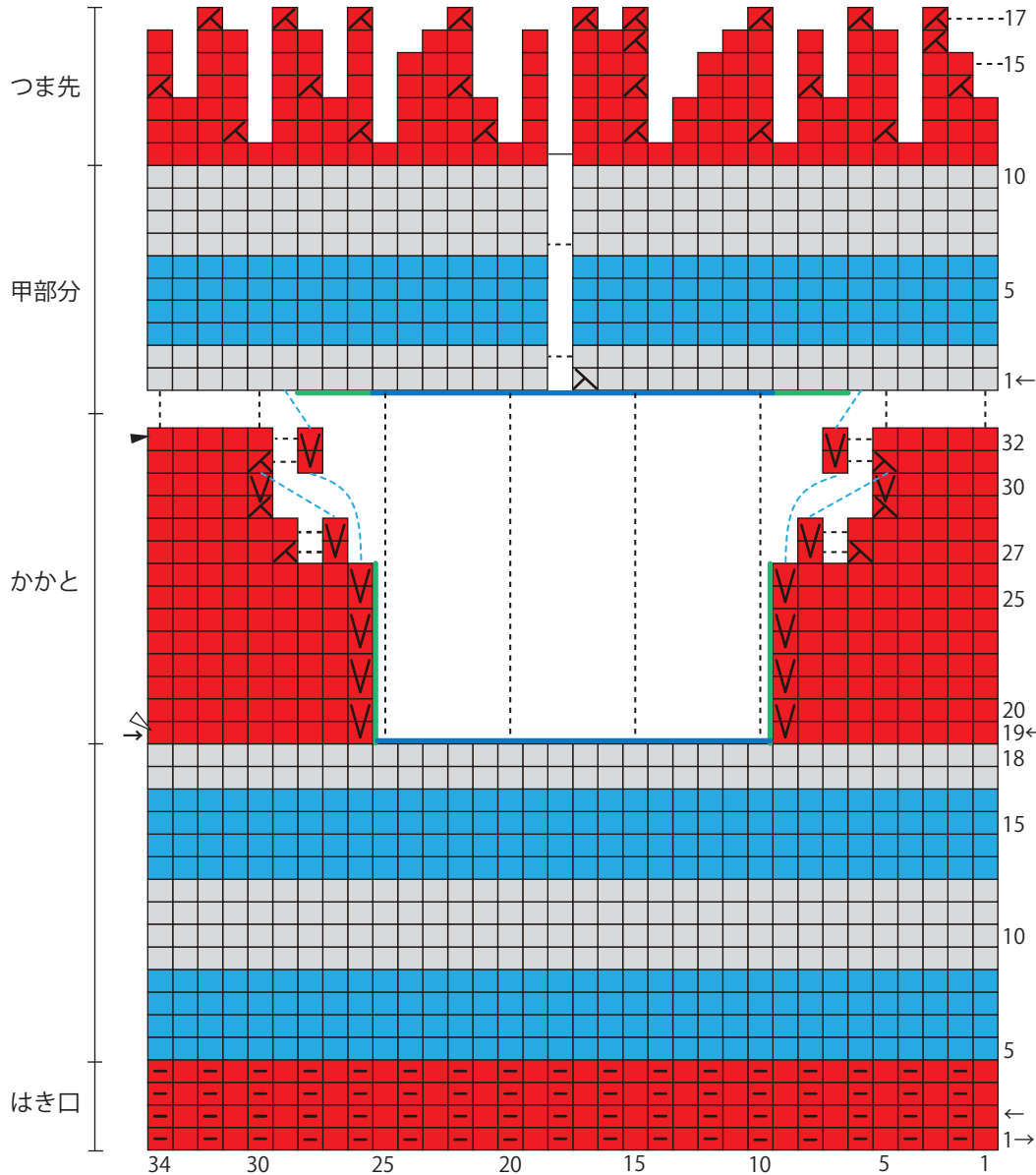
<編み図>

※この編み図では、作り目は1段と数えていません。1段目と同じ糸で作り目を作り、編み始めます。

【靴下】(作り目:34)

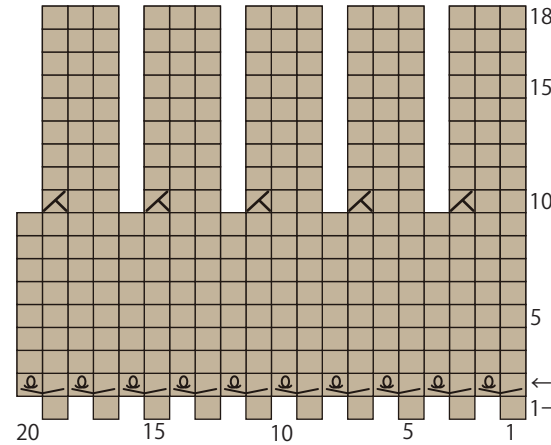
使用糸:[a]■・[b]■・[c]□

※3ページ目の「靴下の編み方のポイント」を参考に編んでください。



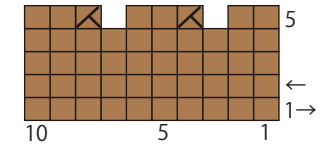
【ボディー】(作り目:10)

使用糸:[d]



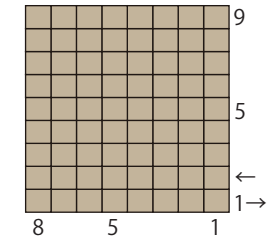
【耳・2枚編む】(作り目:10)

使用糸:[e]



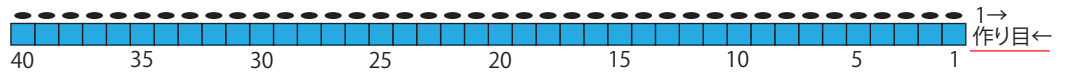
【腕・2枚編む】(作り目:8)

使用糸:[d]

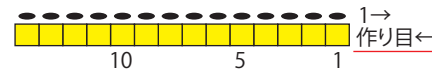


【靴下につけるひも】使用糸:[b]

※40目作り目をし、次の段(1段目)で40目伏せ止めをして完成です。



【首輪】使用糸:[f] ※ひもと同様に編みます。



【編み目記号】

- = 表編み
- ▢ = 裏編み
- ⊗ = 左上2目一度
- ⊗ = 右上2目一度
- ▽ = すべり目
- = 伏せ止め

◻ = 表目の増し目

※まず普通に表編みをします。その時に左の針の目を外さずにおき、そのままねじり目を編む要領でその目に針を入れてもう一度表編みます。

▷ = 糸をつける

▶ = 糸を切る

クローバー株式会社

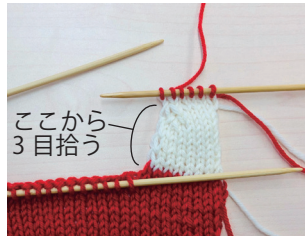
「匠」棒針で編むあみぐるみ 靴下に入った子犬 3-2

★靴下の編み方のポイント★

- (1) 34目作り目をし、編み図の通りに1目ゴム編みを4段編み、5段目からはメリヤス編みでボーダー柄になるように編み図の通りに糸を代えて18段目まで編みます。
- (2) 19段目からのかかとは、右側のかかとと左側のかかとを分けて編みます。  
まず右側のかかから編みます。  
[a] 糸で編み図のように往復しながら26段目まで編みます。27段目は、5目表編み、右上2目一度、1目表編みし、次の1目を針に残した状態で28段目を編み始めます。29段目は4目表編み、右上2目一度をし、針に2目残した状態で30段目を編みます。
- (3) 31段目の右上2目一度で、29段目で編み残した目を拾って編みます。次の表編みで27段目で編み残した目を拾って編みます。
- (4) 32段目まで編めたら糸を始末分残してカットし、そのまま目を休ませておきます。
- (5) 18段目の10目めから25目めまでは、別の針を通して休めておきます。
- (6) 左側のかかをと編みます。[a] 糸を18段目の左端に付けて、裏編みで編み始めます。  
後は右側と左右対称になるように32段目まで編みます。糸を始末分残してカットし、目はそのまま休めておきます。
- (7) 靴下の甲部分を編んでいきます(段数のカウントはまた1から始めます)。  
[c] 糸で、右側のかかとの休めておいた目から続けて編んでいきます。  
まず右側のかかとの休めておいた6目を拾って表編みし、次に右側のかかとの左側面(緑の線の部分)から3目等間隔に拾って表編みします。
- (8) 続けて休めておいた[c]糸の18段目の16目を拾って表編みします(途中1回右上2目一度する)。
- (9) 左側のかかとの右側側面から3目等間隔に拾って表編みし、続けて休めておいた左側のかかとの6目を表編みします。これで甲部分の1段目が編めました。
- (10) 後は編み図の通りにつま先まで編みます。



左右のかかとが編めた状態。



右側のかかとの休めておいた6目を編む。次は側面から3目拾って表編み。



側面の3目が編めた状態。続けて休めておいた目を拾って表編みで編んでいく。

※写真は見本作品とは別の糸を使用しています。「靴下に入ったうさぎさん」の編み図と配色で作っていますが、かかと以降の編み方は同じです。



休めておいた16目が編めたら左側のかかとの側面から3目拾って表編み。



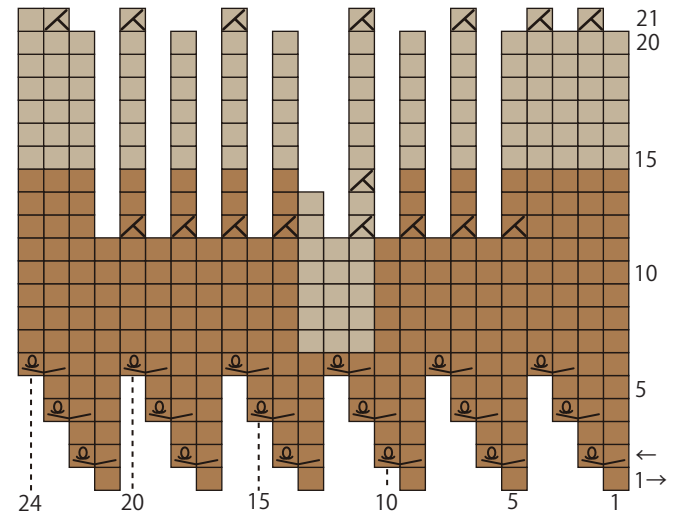
続けて左側のかかとの休めておいた6目を編む。これで甲部分が1段目が編めました。



つま先まで編むとこのような形になります。

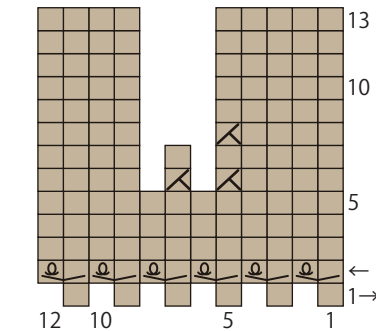
【頭】(作り目:6)

使用糸: [d] ■・[e] ■



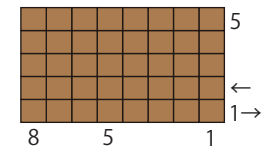
【脚・2枚編む】(作り目:6)

使用糸: [d]



【しっぽ】(作り目:8)

使用糸: [e]



クローバー株式会社